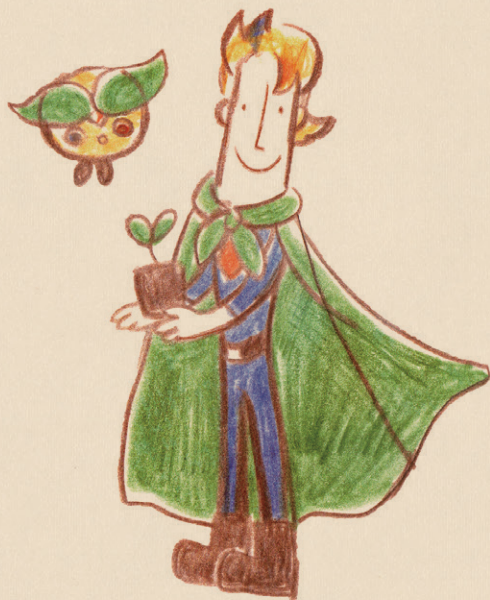


ファイトくんのまほう



町じゅうの「どうしよう…」を

いつもニコニコ解決してくれるファイトくん。

もしかして、まほう使いかも。

なんてウワサもあちこちで飛び出します。

あら、今日も困り顔のお客さまが

相談にやってきましたね。

「じつは、そんな少量で

難しい開発はできないと、

あちこちでいわれてしまってね」

「なるほどなるほど。それはお困りですね。

ぼくがちょっと考えてみましょう」



お客様をお見送りしたファイトくんは、
真剣な顔つきで

なにやら考え始めました。

「あーでもないこうでもない。

う〜ん、なにかいい方法は…」



「!」何かひらめいたファイトくん。

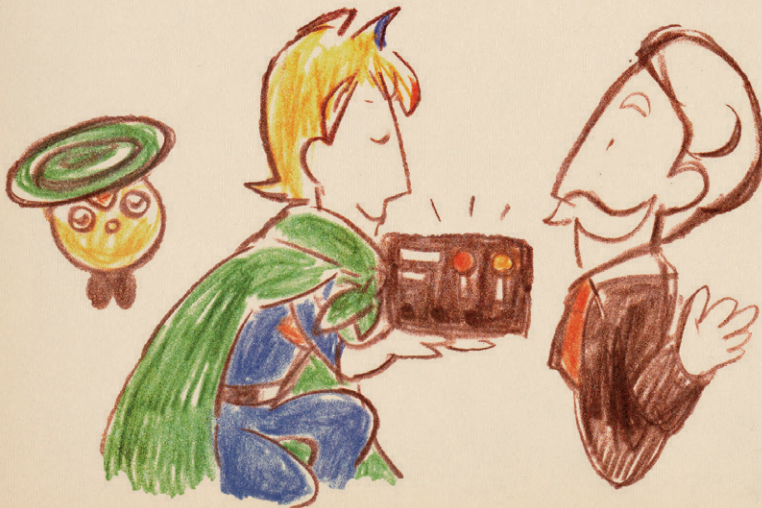
相棒のニックスンを大声で呼びました。

「ニックスン!!この道具をつくってみてよ!」

道具ができあがると、

ふたりは顔を見合わせてにっこり。

とっても満足そうです。



「お待たせしました!きっとこの道具があれば、
問題が解決するはずです」

さっそくお客さまが、その道具を使ってみると…



大成功！「やったぞ！

やっぱりファイトくんのおかげだ！」

お客さまはニコニコ顔。

どんどんゆたかになっていきます。

「今までにないものをつくるなんて、
やっぱりファイトくんはまほう使いだ」と

たくさん褒めてもらえて、

ファイトくんったら照れています。

その横で、ニックスンも誇らしそう。



「ねえ、ニックスン。世界中には困っているお客さまがたくさんいるはずだ。
行こう！」ふたりは世界のあちこちへ、解決の旅に出ることにしました。
まるでまほうみたいなファイトくんとニックスンの技術で、
もっともっとみんなを笑顔に、未来をゆたかにするために――。

